

# 総務教育常任委員会資料

(平成24年7月2日)

[ 件名 ]

平成24年度鳥取県職員採用試験における出題ミスについて……1

人事委員会事務局

# 平成24年度鳥取県職員採用試験における出題ミスについて

平成24年7月2日  
人事委員会事務局

## 1 出題ミスの内容

- (1) 試験区分：鳥取県職員採用試験（大学卒業程度）の第1次試験の専門試験（多肢選択式）
- (2) 試験実施日：平成24年6月24日（日）
- (3) 試験科目：事務（総合分野コース）

○「事務（総合分野コース）」について

法律・経済系以外の専門分野にも通じた多種多様な人材を確保し、もって複雑・多様化する行政課題に対応していくため、平成24年度に新設した試験コース。

総合分野コースの専門試験では、従来の法律等の分野に加え、社会福祉、電気、機械、土木、化学、農業といった幅広い分野から受験者が任意に問題を選択して解答することができる。

計	①必須解答問題（20問）	憲法、行政法、民法、社会政策、国際関係
40問	②選択解答問題（130問中20問を受験者が自由に選択し解答する）	社会福祉分野、電気分野、機械分野、土木分野、化学分野、農業分野といった分野から出題

- (4) 内容：試験を開始して約30分後、受験者から、選択解答問題130問中に同一の問題があるとの指摘があった。その指摘を受け、当委員会事務局係員が確認したところ、電気分野の問題20問中の1問と機械分野の問題20問中の1問とが同一内容の問題であることが判明した。

## 2 出題ミスへの対応

- ・試験時間中に、「重複する問題の同時解答は認めないこと、仮に同時解答した場合は両方の問題を不正解とすること」を全試験地の事務（総合分野コース）の受験者に周知した（試験は通常どおり続行。両方の問題を同時に解答した者はいなかった。）。
- ・この出題ミスによる試験の実施（採点・評価等）に影響はないものと判断し、再試験等は行わないこととした。

## 3 原因の分析と今後の対応

### (1) 原因

試験問題準備に当たり、試験問題作成団体（委託先）に対し、問題に重複がないことを確認していたため、問題の重複はないものと認識し、試験問題の最終的な確認が不十分となってしまった。

### (2) 今後の対応

- 職員間で相互チェックするなどミスを防ぐための事務を行っているが、今後は、重複状況に特化したチェックを行ったりするなど、試験問題のチェック体制をより充実させる。
- 出題方法を再考し、ミスの発生しにくい出題方法とすることができないか検討する。

## 4 参考：当日の受験状況（鳥取県職員採用試験（大学卒業程度））

職種	採用予定者数 A	受験申込者数 B	受験者数 C	受験率 C/B
事務（総合分野コース）	5人	62人	45人	72.6%
全体	47人	669人	502人	75.0%